

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	のびるwith 枚方教室		
○保護者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2025年4月1日		～ 2026年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習支援と個別療育を組み合わせ、一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を行っている点が強みである。 学校生活や日常生活での困り感に対して、学習面・生活面・コミュニケーション面を総合的に支援することで、利用児童の自己肯定感や主体性の向上につながっている。	学校の進度や個々の理解度に応じた教材準備を行うとともに、ICT教材や支援ソフトを活用し、職員間・保護者間での情報共有を強化している。 また、定期的な支援会議やモニタリングを通して支援内容の見直しを行い、自己決定や将来的な自立も見据えた支援を行っている。	職員研修や事例共有を継続し、発達特性や不登校支援、進路支援等に関する専門性の向上を図っていく。 また、学校・相談支援事業所・地域機関との連携を強化し、切れ目のない支援体制づくりを進めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流機会や保護者同士の交流機会については、十分とは言えない部分がある。 また、利用希望の増加に対して支援枠に限りがあり、柔軟な受入調整が課題となっている。	日々の支援業務や送迎対応等により、地域交流や広報活動に充てる人的・時間的リソースが不足していることが要因である。 また、個性を重視した支援体制を取っているため、受入人数の拡大が難しい状況にある。	保護者交流会や情報共有の機会を段階的に実施するとともに、ホームページやSNS等を活用した情報発信を継続していく。 また、防災訓練や安全計画の実施状況についても、アプリ等を通じて保護者へ広く周知していく。